

| | |
|--|---|
| 助成受給団体名 | ふりがな いわきちゅうおうちくぼうはんきょうかいれんごうかい いわき中央地区防犯協会連合会 |
| 事業の名称 | 地域安全「コミュニティ(地区ごと)講習会」の開催 |
| 実施期間 | 平成 27 年 9月 1日 ~ 平成 28 年 3月 15日 |
| 実施した事業の内容 | |
| <p>いわき中央地区防犯協会連合会では、よりきめの細かい防犯施策による犯罪被害防止のため、構成団体である管内17地区防犯協会に協力を求めるとともに、青パト実施者についても講習受講を呼びかけた結果、四倉、久乃浜、平、好間、小川、中央台、豊間、夏井、赤井及び内郷の10地区で延べ13回実施し、受講者数は約200名であった。</p> <p>講師は、いわき中央警察署生活安全課員及び当連合会事務局長がつとめ、約1時間の講習を行った。</p> <p>講習内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「振り込め詐欺」被害の現状と防止策及びDVD上映 ○いわき中央警察署管内及び当該地区における犯罪発生状況等の説明 <p>を行った。</p> <p>また、青パト実施者に対しては、活動上の留意事項を講義した。</p> | |
| 事業の成果 | |
| <p>講習では、振り込め詐欺被害が後を絶たない中、管内での具体的な架電状況、例えば「最近、管内居住者方にかかってきた電話内容等を分析した結果、〇〇高校の同窓会名簿が利用されているようだ。」といった、身近に感じることができる内容が話され、受講者は真剣に耳を傾けていた。</p> <p>さらに、各地区における犯罪発生状況について、平成14、15年当時と平成27年中の発生状況を比較した数字を示し、認知件数が3分の1程度に減少していることを説明するとともに、これら数字の減少には地域住民による自主防犯活動が一定の役割を果たしてきたことも話し、受講者は継続的な自主防犯活動の重要性について理解を深めた。</p> <p>また、社会福祉協議会からも高齢者の犯罪被害防止のための講習を要請されるなど、視覚に訴えた活動の有用性が認められた。</p> | |
| 今後の課題 | |
| <p>社会的弱者といわれる高齢者、少年、女性に対する犯罪被害防止のための講習を継続的に行うためには、各地区防犯協会のみならず、消費生活センター、社会福祉協議会、公民館といった公的機関にも働きかけていきたい。</p> | |

